

ヨハネの福音書 第12章 24節

「まことに、まことに、あなたがたに告げます。一粒の麦がもし地に落ちて死ななければ、それは一つのみかたです。しかし、もし死ねば、豊かな実を結びます。」

今年の薔薇は例年と異なり多く開花させた。それまではやや控えめと言えるほどの数であった。薔薇の種類からして少ない数の開花がふさわしい品種である。しかし、今回はちがう。一つの莖に4輪も開花する妙技も披露している。他は、3輪、2輪そして一莖に一輪である。

このままベランダに置き、散り果てるまで愛でるのもよい。だが、体調すぐれない方がおられるので、少しでもこころ安らぐことが出来ればと薔薇の莖ごと数輪を切り取った。植物にとって幹から切り取られることは死を意味する。しかし、その死を抱えながら病床の傍らに置かれたとき、ベランダでは現わすことがなかった花の素晴らしさを見せる。

病床に伏す者の目をとらえ、ほのかに香る空気に鼻を寄せるところが和らぐ。もし死ねば、豊かな実を結びます。ベランダの幹から切り取られた薔薇の花を見る者のこころを動かし、一時の安らぎという実を結んだ。その実は、持参した者や花が目の前から去っても見た者のこころに結んでいる筈。

2022年5月24日